滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係る
プロポーザル実施要領

平成２９年５月

中空知衛生施設組合

目　　次

はじめに …… 1
Ⅰ　一般事項 …… 1
１　名称
２　主催者
３　募集方法
４　審査
５　性格
６　建設事業の日程
７　事務局
８　資料等の入手

Ⅱ　日　程 …… 2

Ⅲ　参加者の資格要件 …… 2
１　参加資格
２　参加不適格者等
３　失格基準

Ⅳ　審査 …… 3
１　審査委員会
２　審査方法
３　最優秀提案者等の特定
４　審査結果の発表

Ⅴ　手続き …… 3
１　実施要領の配布
２　参加表明書の提出
３　技術提案書の提出
４　質問・回答

Ⅵ　火葬炉についての概要 …… 4
１　基本方針
２　基本条件
３　火葬対象
４　運転管理
５　安全対策
６　保証期間

Ⅶ　技術提案書作成要領 …… 6
１　基本事項
２　提出図書
３　その他

Ⅷ　付属資料 …… 7

滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル実施要領

はじめに

中空知衛生施設組合（滝川市、赤平市、新十津川町、雨竜町）設置の滝の川斎苑は、滝川市、新十津川町、雨竜町の１市２町の共同利用として火葬炉３基で昭和 51 年６月に供用開始し、更に昭和 56 年に火葬炉１基を増築しました。平成 16 年７月には赤平市が参入しています。建設から 40 年が経過し、建物の老朽化や狭隘がみられるとともに、火葬炉設備の老朽化への対応など、長期的な展望に基づいた対策が求められています。

火葬炉設備は、「墓地、埋葬等に関する法律」等を遵守する必要があるとともに、最良なものを完備し、ばい煙・悪臭・騒音・ダイオキシン類等の公害防止に留意し、事故防止及び作業環境の向上に万全を期することが求められ、火葬炉の仕様や性能が火葬場の運営及び維持管理に大きな影響を与えるため、火葬炉設備の仕様決定や火葬炉メーカーの選出が非常に重要となります。

このことから、優れた技術水準及び実績を持ち、熱意と責任をもって対応する火葬炉メーカーを選定するため、下記の項目に基づき実現可能な設備、又滝の川斎苑の運営管理に必要と思われる火葬炉設備等の整備に関する技術提案書の作成を依頼するものであります。

Ⅰ　一般事項

１　名　　称　　滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定プロポーザル（以下「火葬炉選定プロポーザル」という。）

２　主 催 者　　中空知衛生施設組合

３　募集方法　　公募型プロポーザル

４　審　　査　　審査委員会において、最優秀提案者及び次点者（以下「最優秀提案者等」という。）を選定する。

５　性　　格　　技術提案書は、火葬炉の基本的な考え方や、公害防止に関する技術力等と、与えられた条件下における提案を評価し、最優秀提案者等を選定するために提出を求めるものである。

６　建設事業の日程

（１）基本設計	平成 29 年　６月～平成 30 年　２月
（２）実施設計	平成 30 年　４月～平成 30 年 11 月（予定）
（３）火葬炉プラント工事	平成 31 年　５月～平成 33 年　３月（予定）
（４）建設工事	平成 31 年　５月～平成 34 年　２月（予定）
（５）外構工事	平成 33 年　５月～平成 34 年　２月（予定）
（６）新斎苑開館	平成 33 年　４月（予定）
（７）既存施設解体及び周辺整備	平成 33 年　５月～平成 33 年 12 月（予定）
（８）全体完成	平成 34 年　２月（予定）

７　事　務　局　　中空知衛生施設組合
〒073-0026　北海道滝川市東滝川７６０番地１
TEL：０１２５-７５-３８００
FAX：０１２５-７５-３８０１
Ｅ-mail：　recyclean@violin.ocn.ne.jp

８　資料等の入手　実施要領、質問回答、結果発表等の関係書類は、中空知衛生施設組合公式ホームページのトップページ内「新着・お知らせ」内に掲載されている「滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定プロポーザル参加者募集」から、ダウンロードし入手する。
なお、窓口での閲覧・配布は行わない。
http://recyclean3.com/index.html

Ⅱ　日　程

① 公募開始（組合のホームページ掲載）	５月 18 日（木）
② 質問書の受付締切り	５月 23 日（火）１７時まで
③ 質問書に対する回答（ホームページ掲載）	５月 26 日（金）
④ 参加表明書提出受付締切り	５月 30 日（火）１７時まで
⑤ 技術提案書提出受付締切り	６月 19 日（月）１７時まで
⑥ 審査（技術提案書の審査・ヒアリング）	７月 11 日（火）
⑦ 結果発表及び通知	７月 14 日（金）

Ⅲ　参加者の資格要件

火葬炉選定プロポーザルに参加する者（以下「参加者」という。）の資格要件等は、次のとおりです。

１　参加資格

参加者は、参加表明書の提出日現在、次の各号に該当していることを参加資格とします。

(1) 平成 29・30 年度滝川市入札参加資格名簿（建設工事部門）に登載をされている者。
(2) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の４の規定に該当する者でない者。
(3) 北海道内において平成 19 年４月１日以降に火葬炉を納入した実績があること。
(4) 滝川市建設工事指名停止等措置要領により、指名停止等の措置を受けていないものである者。

２　参加不適格者等

審査委員が自ら主宰し又は役員若しくは顧問として関係する営利法人、その他の営利組合は参加できません。

３　失格基準

次の各号の一に該当する場合、その提案に係る参加者は失格とします。

⑴　提出書類に虚偽の内容を記載した場合。

⑵　提出方法、提出先及び提出期限の条件に適合しない場合。

⑶　作成要領に指定する様式及び記載上の留意事項に示された条件に適合しない場合。

⑷　本審査が終了するまでの間において、審査委員に対して審査の結果に影響を与えるような接触を行った場合。

Ⅳ　審　査

１　審査委員会

最優秀提案者等の選定の審査は、中空知衛生施設組合火葬場改築工事事業企画提案審査選定会議の委員により組織された審査委員会が行います。

２　審査方法

技術提案書の審査と提案者へのヒアリングを行い、最優秀提案者等を選定します。審査は非公開で行います。

３　最優秀提案者等の特定

組合は、審査委員会から推薦を受けた者を、最優秀提案者等として特定します。

４　審査結果の発表

⑴　審査の結果は、参加者全員に通知します。

⑵　審査結果及び最優秀提案者等は、中空知衛生施設組合の公式ホームページに掲載し公表します。

Ⅴ　手続き

１　実施要領の配布

⑴　配布する資料

滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル実施要領

⑵　配布期間　平成 29 年　５月 18 日（木）から

中空知衛生施設組合公式ホームページからダウンロードしてください。

２　参加表明書の提出

⑴　提出期限　平成 29 年　５月 30 日（火）１７時まで（必着）

（土･日曜日及び祝祭日は除く。受付時間は８時 30 分から 17 時まで）

⑵　提出場所　中空知衛生施設組合　事務局

⑶　提出方法　持参又は郵送（提出期限必着）

⑷　作成方法　参加表明書は別紙様式１により作成する。

３　技術提案書の提出

⑴　提出期限　平成 29 年　６月 19 日（月）１７時まで（必着）

（土･日曜日及び祝祭日は除く。受付時間は８時 30 分から 17 時まで）

⑵　提出場所　中空知衛生施設組合　事務局

⑶　提出方法　持参又は郵送（提出期限必着）

⑷　作成方法　技術提案書は本実施要領Ⅶ技術提案書作成要領による。

４　質問・回答

⑴　質問の受付期間
技術提案に係る質問　平成 29 年　５月 23 日（火）17 時まで（必着）
（土・日曜日及び祝祭日は除く。受付時間は８時 30 分から 17 時まで）

⑵　受付場所　中空知衛生施設組合　事務局

⑶　質問方法　質問は、別紙様式２により、持参、郵送（受付期間内必着）、ＦＡＸ又は電子メールで（事務局に受信確認を電話で行ってください。）。

⑷　回　　答　質問に係る回答は、平成 29 年　５月 26 日（金）までに中空知衛生施設組合公式ホームページに掲載します。

Ⅵ　火葬炉についての概要

１　基本方針

（１）ばい煙、悪臭、騒音、振動及びダイオキシン類の除去対策等公害防止に十分配慮し、並びに周辺環境にも十分配慮した設備機器とすること。

（２）諸設備は、高い安全性と信頼性及び十分な耐久性を有し、かつ維持管理が容易なものであること。

（３）火葬炉の運転・維持管理労力の省力化及び諸経費の軽減が図られた設備であること。

（４）遺体の尊厳を十分に配慮した設備であること。

（５）施設の作業環境及び労働安全、衛生に十分配慮した設備であること。

（６）炉停止等の緊急時における体制・対応が整備されていること。

（７）災害時の対応を考慮した設備であること。

（８）将来の火葬炉設備の更新を考慮した設備であること。

２　基本条件

（１）事業名称　　：滝の川斎苑改築工事火葬炉設備工事

（２）事業箇所　　：滝川市北滝の川 2026 番地 2、2028 番地

（３）事業予定年度：平成 31・32 年度

（４）年間火葬件数：１，０００件／年（平成２７年度実績：８９２件）
※ピーク時は平成 37～42 年で 994 件程度と予測

（５）炉数　　：火葬炉　－４基

（６）型式　　：火葬炉　一台車式大型炉（冷却前室付、前入れ前出し）
：再燃焼炉－主燃焼炉直上型、１炉１再燃焼方式

（７）燃料　　：燃料については各社提案とする。

（８）系列　　：１炉１系列

（９）炉内温度　　：主燃焼炉内及び再燃焼炉内温度８００℃以上に保つ。

（10）排ガス冷却　：各社独自（２００℃以下に冷却できる設備にすること。）

（11）除じん設備　：（13）に示す公害防止目標値を守れる設備とすること。

（12）電気計装設備：炉操作盤－タッチパネル形式とするがシステムは各社独自
中央監視盤－システムは各社独自
モニター設備－排ガス監視用のモニター設備とする。

（13）公害防止目標値（排出基準値）

次に示す排出基準値以下とする。

① 排ガス濃度（排気筒出口）：

- ばいじん量　：０．０３g／N ㎥
- 硫黄酸化物　：３０　ppm 以下
- 窒素酸化物　：２５０　ppm 以下（酸素濃度 12％換算値とする。）
- 塩化水素　：５０　ppm 以下
- 一酸化炭素　：平均５０ppm 以下（最大値１５０ppm を超えないこと）
- ダイオキシン類：1ng－TEQ／N ㎥以下（酸素濃度 12％換算値とする。）

② 悪臭物質濃度（事業場の敷地境界線）

- アンモニア　：１　ppm 以下
- メチルメルカプタン　：０．００２　〃
- 硫化水素　：０．０２　〃
- 硫化メチル　：０．０１　〃
- 二硫化メチル　：０．００９　〃
- トリメチルアミン　：０．００５　〃
- アセトアルデヒド　：０．０５　〃
- プロピオンアルデヒド　：０．０５　〃
- ノルマルブチアルデヒド　：０．００９　〃
- イソブチルアルデヒド　：０．０２　〃
- ノルマルバレルアルデヒド：０．００９　〃
- イソバレルアルデヒド　：０．００３　〃
- イソブタノール　：０．９　〃
- 酢酸エチル　：３　〃
- メチルイソブチルケトン　：１　〃
- トルエン　：１０　〃
- スチレン　：０．４　〃
- キシレン　：１　〃
- プロピオン酸　：０．０３　〃
- ノルマル酪酸　：０．００１　〃
- ノルマル吉草酸　：０．０００９〃
- イソ吉草酸　：０．００１　〃

③ 臭気指数

- 排気筒出口　：５００以下
- 敷地境界　：　１０以下

④ 騒音

- 作業室内　：８０dB（A）以下（全炉稼動）
- 炉前ホール　：６０dB（A）以下（全炉稼動）
- 敷地境界　：５０dB（A）以下（全炉稼動）

⑤ 振動

・ 敷地境界　　：６０dB（A）以下（全炉稼動）

（14）収骨方法：収骨スペースにて収骨台車上から直接収骨する。

（15）運転回数：平均２回／炉・日

（16）火葬時間：バーナー着火から消火まで約６５分、収骨が可能になるまでの冷却時間を約１５分とし、全体で約８０分程度とする。

３　火葬対象

（１）火葬対象とする遺体は、標準的な遺体を６０～９０kg とし、１００kg 程度の大型遺体の火葬も可能なものであること。

なお、燃焼計算においては７０kg を標準値とする。

（２）棺重量は２０kg を基準とし、市販メーカーが製造する最大サイズの棺（例：2,100mmL×650mmW×500mmH）の火葬も可能なものであること。

（３）副葬品は、５kg を基準とする。

４　運転管理

中央監視・制御室を整備し、燃焼状況、排ガス状況等の監視・制御並びに各装置の操作が可能であること。また、運転・監視及び公害防止に役立つ必要なデータ処理と記録が行えるものであること。

５　安全対策

作業員の安全、事故防止に十分配慮した設備であること。

６　保証期間

火葬炉設備としては、２年間以上とする。

※主要機器等については、＜様式４＞へ明示のこと。

Ⅶ　技術提案書作成要領

１　基本事項

① 提案書は、本要領で指定した＜様式６－１～８＞の中で表現するものとする。

② 技術提案書は、Ａ４縦ファイルの左綴じ製本とし提出すること。

２　提出図書

① 火葬炉設備仕様書（火葬炉設備全体の具体的な設備仕様書を添付のこと。）

② 燃焼計算、各設備能力計算

③ 図面

次に示す図面を提出のこと。（図面はＡ３又はＡ４のどちらかで統一すること。）

ア）火葬炉設備フローシート及び火葬炉設備計装フローシート

イ）火葬炉設備設置にかかる配置図、平面図、立面図（点検スペース等を考慮した必要最小寸法を示すものとする。）

ウ）築炉構造図

エ）炉内台車

オ）バーナー（主燃焼，再燃焼）
カ）排気筒
キ）残骨・飛灰処理設備
ク）柩運搬車、台車運搬車
ケ）炉前冷却室

④ 電気計装に関する提出図書

ア）電気設備容量計算書及びシステム運転時負荷計算書
イ）各設備機器仕様書
ウ）制御及び計装一覧表
エ）中央監視盤、炉操作盤等必要な盤類の形態図及びシステム内容

⑤ 会社概要及び納入実績 ＜様式 1＞

⑥ 排ガス等の目標値(実績に基づき当施設で約束できるデータ値) ＜様式 2＞

※同じ設備の納入２施設について実績値を表記し、計量証明書も添付すること。

⑦ 年間維持管理費概算書(当施設で確実に達成可能な使用量を記載) ＜様式 3＞

⑧ 主要機器の修理・補修（交換）費用及び保証期間一覧 ＜様式 4＞

⑨ 項目別工事見積書 ＜様式 5＞

※火葬炉設備工事として単独発注することを前提とした見積りとすること。
※燃料の供給に係る工事については、２次側（サービスタンク）からの工事について見積ること。（供給ポンプ、送油ポンプは炉設備とする。）又、必要な項目は各社にて追記して見積ること。
※見積書の内容は提案書の内容を反映させたものとすること。

⑩ 提案書

ア）火葬に関するコンセプト ＜様式６－１＞
イ）炉設備の形式・特徴 ＜様式６－２＞
ウ）運営に関する提案 ＜様式６－３＞
エ）アフターサービスの考え方と体制 ＜様式６－４＞
オ）安全及び緊急停止時の対策 ＜様式６－５＞
カ）環境に関する取り組み ＜様式６－６＞
キ）コスト縮減について ＜様式６－７＞
ク）施工方法に関する提案 ＜様式６－８＞

３ その他

技術提案書作成に係る費用は支払わないものとし、提出された技術提案書等の書類は返却しない。

Ⅷ　付属資料

＜別紙様式１＞　滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル参加表明書
＜別紙様式２＞　滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル質問書

＜様式１＞　会社概要及び納入実績
＜様式２＞　排ガス等の目標値
＜様式３＞　年間維持管理費概算書
＜様式４＞　主要機器の修理・補修（交換）費用及び保証期間一覧
＜様式５＞　項目別工事見積書
＜様式６－１＞　火葬に関するコンセプト
＜様式６－２＞　炉設備の形式・特徴
＜様式６－３＞　運営に関する提案
＜様式６－４＞　アフターサービスの考え方と体制
＜様式６－５＞　安全及び緊急停止時の対策
＜様式６－６＞　環境に関する取り組み
＜様式６－７＞　コスト縮減について
＜様式６－８＞　施工方法に関する提案

＜別紙様式１＞

滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル
参　加　表　明　書

平成　　年　　月　　日

中空知衛生施設組合

組合長　前田　康吉　様

住　所
商号又は名称
代表者　　印
電話番号
ＦＡＸ番号
Ｅ-mail

「滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル」について、参加することを表明します。

＜別紙様式２＞

滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル
質　問　書

平成２９年　　月　　日

中空知衛生施設組合
　組合長　前田　康吉　様

住所
商号又は名称
代表者　　印
電話番号
ＦＡＸ番号
Ｅ-mail

「滝の川斎苑改築工事火葬炉設備選定に係るプロポーザル」について、次の事項を質問します。

質　問　事　項

備　考
１　質問が無い場合は、質問書を提出する必要はありません。
２　提出期間　平成 29 年　５月 23 日(火)17 時まで